

事業所名

空

支援プログラム

作成日

令和7年

3月

1日

法人（事業所）理念		あたたかな環境でお様がいきいきと輝けるようお手伝いをいたします。安心できる場所で「好き」を見つけ、それを活かして空へ羽ばたく力をつけていきます。「自立＝大地に根を張る大樹、自律＝大空を羽ばたく鳥」のように、一人ひとりが自分の力で立ち、自分の選択で人生を創造することを願っています。							
支援方針		私たちの支援の最終地点は空の子どもたちが自立と自律を兼ね備えて社会へ旅立つことです。その為に、空で過ごす時間の中で様々な刺激を受けながら、自分の「好き」や「得意」を見つけ、「苦手」を知ることも大切だと思っています。そして、仲間の得意を尊重し、苦手を助けてあげられる気持ちを育ててまいります。療育の場として、安心して過ごせる居場所として、またご家族のレスパイトケアとしてお子様だけでなく、ご家族の幸せも願って支援を行ってまいります。							
営業時間		通常	9時	30分	18時	30分	送迎実施の有無	あり	なし
		学校休業日	8時	0分	16時	0分			
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来所時、送迎時の子どもたちの様子を把握し共有します。</li> <li>・児童に応じた、日々の約束事（自宅での日課、更衣等の生活習慣、家庭でのルールを守る事や課題ができたかどうか等）を決め、チェックを行います。</li> <li>・自分で考えて、選択できる力や自分で伝えられる様になる力をつけていきます。</li> <li>・基本的な生活習慣や食生活・健康について、学習や遊び、調理活動を通して身に付け、興味を持つ事や年令に合わせた自己管理ができるようにします。</li> <li>・SSTなどによる身体的・精神的・社会的訓練を行い、日常生活および社会生活に必要なスキルを身に付けていきます。</li> </ul>							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラジオ体操等、リズムに合わせて体を動かすなどの運動を行い、体のバランス力を養って体幹を鍛え、筋肉の持久力を高めていきます。また、個別にケガなく健康に過ごすための柔軟性を養うストレッチ活動を取り入れ、筋肉・関節の柔軟性や可動域の拡大、身体操作能力・体幹の安定性の向上、正しい姿勢の獲得・維持を目指します。</li> <li>・1日の流れやルールなどを絵や絵カードを使って視覚支援を行います。</li> <li>・メンタルビジョントレーニングを取り入れ、プリントやゲームを通じて、目や指先・空間認知等の感覚運動を行い、併せて視機能を高めます。</li> <li>・折り紙、ハサミ、ブロック、粘土などで指先の動きをコントロールする力をつけていきます。</li> <li>・屋外活動を通して、体力の維持・促進を支援します。</li> <li>・保有する感覚（視覚、聴覚、触覚）を十分に活用し、遊びを通して物質の変化と感覚の認知形成を養います。</li> </ul>							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚支援のタイムテーブルを使用し、時間の意識や経過を感じられるように支援し、日常生活に必要な判断や行動につながる意識づけを行います。</li> <li>・毎回子ども自身が目標設定・振り返りを行うことで、時間やルールを意識させたり、達成できたことを褒めて、自己肯定感を育みます。</li> <li>・小集団での楽しい遊びや関わりの中で、自分の気持ちを知り、前向きな行動をとれるように支援します。</li> <li>・個々の認知の特性に応じた対応を行ない、対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得を支援します。また、本人の視点に立った支援を行ない、偏食やこだわり、行動障害の予防や適切な対応を行ないます。</li> </ul>							
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジョントレーニングのゲームを用いて、ひらがな・カタカナ・語彙力を身に付けられるように支援します。</li> <li>・集団活動のゲームやプリント学習を通じて、相手に口頭や文章で自分の想いや考えを伝えられるように支援します。</li> <li>・学校休業日には、朝・帰りの会を実施し、みんなの前で発表する機会をつくります。</li> <li>・SSTを活用し、同世代の利用児とのやりとりを経験して実践的なコミュニケーションを養います。</li> <li>・生活の中での関わりを通して、相手の気持ちや行動を理解し、自分の考え・思いを伝えることができるルール設定を行い、感情のコントロール方法を身に付けます。</li> <li>・一人ひとりのコミュニケーションの基礎的能力の向上、言語の受容と表出、言語の形成と活用を図ります。また、言語以外にもジェスチャーや筆談、メモパッドや音声入力等のコミュニケーション手段を選択し、状況に応じたコミュニケーションがとれるように支援します。</li> </ul>							
人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつが自然にできるように意識づけをしていきます。</li> <li>・集団活動への参加を通して、互いに協力したり理解し合い、仲間作りができるように支援します。</li> <li>・より良い人間関係を築くために、実生活での出来事等を通して自分や相手の気持ち・周囲の状況に気付き、理解し行動する力を付けます。また、個別に、日常生活での困りごと・人間関係のトラブルの振り返りや、ソーシャルスキルトレーニングを行います。</li> <li>・外出活動で公共交通機関の利用やイベントに参加し地域との交流を行います。また、公共施設の利用方法やルール等を身に付けていきます。</li> <li>・大人との信頼関係を築き、アタッチメント（愛着）の形成と安心して自分の感情のコントロールが出来るように支援します。</li> <li>・模倣する機会を日常の中で作り、人から学ぶ機会を持てるように支援します。また、発達段階に応じた遊びを通して、社会性の発達を促します。</li> </ul>								

<p>家族支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の発達課題や支援内容、家庭生活、きょうだい児に関する相談・助言等を事業所での対面や電話等、保護者の望む形で実施しています。</li> <li>・子どもの発達上の課題についての気づきを促し、家庭と連携してその後の支援に取り組みます。</li> <li>・関係者・関係機関との連携による支援体制を構築します。</li> <li>・定期的に保護者面談を行い、来所時の様子や活動についての情報を共有すると共に、連続性のある総合的な支援を行います。</li> </ul>
<p>移行支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校や相談支援と連携し、進学時の情報共有の為に担当者会議を開催しています。</li> <li>・具体的な意向を想定した子どもの発達の評価を行い、個別面談時等に保護者の意向確認や状況共有を行います。</li> <li>・他関連機関との連携をはかり、支援体制を構築します。</li> </ul>
<p>地域支援・地域連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方から畑をお借りし、季節に応じた農園体験を行い、その中で地域の方との関わりを持つようにしています。また、採れた野菜の一部を地域の薬局へ提供し、売り上げを全額子ども食堂への寄付としています。</li> <li>・地域の公共施設を利用し、地域資源を活用しています。</li> <li>・学校等の教育現場や近隣の他の福祉サービス事業所等と連絡を取り合い、連携会議等を行って情報共有しています。</li> </ul>
<p>職員の質の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な社内研修を実施し、各職員のスキルアップに努めています。</li> <li>・社外研修を推進し、職員それぞれが自己研鑽できる機会の提供を行っています。</li> </ul>
<p>主な行事等</p>	<p>季節のイベント（果物狩り、お花見、海水浴、プール、流しそうめん、芋掘り、ハロウィン、クリスマス会、初詣、節分、避難訓練、卒所・修了式など）          買い物体験（スーパーやコンビニ、ショッピングモール等）、クッキング（昼食やおやつ作り、出店体験など）          屋内活動（制作活動、リサイクルバザー、ボードゲーム大会など）          外出活動（乗り物体験、公園、市民センターの利用、親子遠足など）</p>